

やってみたい! 取り入れてみたい! 実践が満載!

認知症ケアの各種療法

8つの
療法と実践

具体的アプローチセミナー

(1) パーソン・センタード・ケア (2) パリテーション (3) 応用行動分析 (4) 認知リハ
(5) 音楽療法 (6) 回想法 (7) 絵画療法 (8) タクティール®ケア

認知症ケアの各種療法が勢ぞろい!

日時 2016年 **9月11日(日)**
9:30~17:30

会場 **ウィリング横浜**
(神奈川県横浜市港南区上大岡1-6-1)

参加費 各コース **5,000円** (税・全資料代込)

その他 日本認知症ケア学会単位認定講座として申請中

プログラム 午前・午後の各時間帯で興味のあるコースを選択いただけます

	[Aコース] 音楽療法	[Bコース] 回想法	[Cコース] 絵画療法	[Dコース] 認知リハ・認知訓練
9:30	認知症の方に 心理的・生理的に働きかける 音楽療法の実践と効果①	昔を思い出し語り合いケアにつなげる 回想法の実践と効果①	五感を使って コミュニケーションを図る 絵画療法の実践と効果①	認知リハビリ・認知訓練の実践① ~「認知・遂行機能」と「生活機能」の 改善を目指すリハビリテーション~
11:00	休憩			
11:15	認知症の方に 心理的・生理的に働きかける 音楽療法の実践と効果②	昔を思い出し語り合いケアにつなげる 回想法の実践と効果②	五感を使って コミュニケーションを図る 絵画療法の実践と効果②	認知リハビリ・認知訓練の実践② ~実践!認知症の方への リハビリテーションとリハケア~
12:45	休憩			
13:30	企業賛助講座			
14:30	※認知症ケアに関する商品などを開発している企業によるプレゼンテーションを予定しています			
	[Eコース] タクティール®ケア	[Fコース] パリテーション	[Gコース] パーソン・センタード・ケア	[Hコース] 応用行動分析
14:45	認知症の方に対する タクティール®ケア① ~不安や痛みを解消し心を癒す手法~	尊厳を支える認知症ケア パリテーション① ~心に触れるコミュニケーション法~	その人を中心とした認知症ケア パーソン・センタード・ケア① ~ニーズを知るために必要な観察の視点~	BPSDを行動と環境から 考える応用行動分析を 用いたアプローチ①
16:00	休憩			
16:15	認知症の方に対する タクティール®ケア② ~不安や痛みを解消し心を癒す手法~	尊厳を支える認知症ケア パリテーション② ~心に触れるコミュニケーション法~	その人を中心とした認知症ケア パーソン・センタード・ケア② ~ニーズを知るために必要な観察の視点~	BPSDを行動と環境から 考える応用行動分析を 用いたアプローチ②
17:30				

認知症ケアの各種療法具体的アプローチセミナー 参加申し込み書

ふりがな		希望コース	午前	コース	②	希望コース	午前	コース
参加者名	①		午後	コース			午後	コース
法人名				TEL		FAX		
請求先 書類送付先 住所	(<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人※どちらかに✓をつけてください) 〒	連絡先 <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人 ※どちらかに✓		携帯電話				
				メールアドレス		@		

お問合わせ 721-0902

広島県福山市春日町浦上 1205 (株) QOL サービス内

主催: 日本通所ケア研究会 / 福山認知症ケア研究会
共催: NPO 法人日本介護福祉教育研修機構

TEL 084-971-6686

ホームページ <http://www.tsuusho.com/dementia/>

メール info@tsuusho.com

FAX 084-948-0641

認知症各種療法セミナー 検索

A

コース

音楽療法

安心して心地よく参加できる
音楽療法的アプローチ

講師 美原 淑子氏 (介護老人保健施設アルボース 音楽療法士)

9:30~11:00 多職種連携で行う音楽療法

- ・音楽療法とは何か
- ・音楽療法を行うための準備と心構えとは
- ・介護現場で音楽をどのように効果的に使うのか
- ・生の音楽に合わせて体を動かし、歌ってみよう①(体験) など

11:15~12:45 どうして「なじみの歌」が効果的なのか

- ・セッションで使う曲選びと構成について
- ・年代別におさえておきたい「なじみの歌」とは
- ・生の音楽に合わせて体を動かし、歌ってみよう②(体験) など



B

コース

回想法

思い出語り行動を「分かる」から「できる」へ
心身で理解する回想法

講師 中嶋 恵美子氏 (回想ライフレビュー研究会 代表)

9:30~11:00 回想法とは

- ・回想法の概要(歴史、形式、効果)
- ・回想法を「始める前に」「始まってから」「終わってから」…それぞれのポイント
- ・体験学習①【過去から学ぶ】
- ・「幼い頃の思い出の品」「大切な思い出の品」を使って個人回想法を体験 など

11:15~12:45 段階的にグループ回想法へステップアップ

- ・体験学習②【シナリオ回想法】
- ・体験学習③【やってみよう!グループ回想法】
- ・認知症の方への回想法実践にあたっての留意点
- ・まとめ など

C

コース

絵画療法

認知症の方の個性を生かした
センス・コミュニケーション絵画療法

講師 半田 育子氏 (アトリエバンダ 代表/臨床美術士)

9:30~11:00 キャベツの断面を観察しよう!絵画療法の実践

- ・介護現場での絵画療法の導入と効果の説明 1(アトリエバンダの活動を通して)
- ・キャベツの断面を観察し、オイルパステルを使用して実際に絵画療法を体験
- ・作品をより個性的に表現するために和紙や毛糸を使って個性的に創作しよう
- ・全作品を掲示し鑑賞会(作品を掲示する際のポイントと感想を述べる効果) など

11:15~12:45 ぶどうの粒を数えて描こう!絵画療法の実践

- ・介護現場での絵画療法の導入と効果の説明 2(アトリエバンダの活動を通して)
- ・ぶどうを観察し、オイルパステルを使用して実際に絵画療法を体験
- ・こすり出し(フロッターージュ)の技法を体験
- ・全作品を掲示し鑑賞会(作品を掲示する際のポイントと感想を述べる効果) など

D

コース

認知リハ

課題を適切に処方し成果を確認する
認知リハビリ・認知訓練

講師 浅野 有子氏 (精神科池田病院介護老人保健施設「涼風苑」リハビリ室長)

9:30~11:00 「認知・遂行機能」と「生活機能」の改善を目指すリハ

- ・「認知機能」「遂行機能」「生活機能」についてその困難とアセスメント
- ・認知遂行機能のレベル・分類(アレンの認知レベル判定をもとに)
- ・認知症の方へのリハビリテーション体系(認知症短期集中リハ、生活行為向上リハ など)
- ・リハビリテーション効果のある集団活動の例(実技体験) など

11:15~12:45 認知症の方へのリハビリとリハケア

- ・認知症の方への個別リハビリテーションプログラムの組み立て方
- ・認知、遂行機能の評価の仕方・アウトカムをどう設定するのか
- ・作業評価の実践例と遂行機能のアセスメントとポイント(実技体験)
- ・集団活動での評価の仕方、社会参加をどうサポートできるのか など

E

コース

タクティールケア

不安やストレスの緩和・痛みの抑制
優しく寄り添うタクティール®ケア

講師 木本 明恵氏 (スウェーデン財団法人シルヴィアホーム認定インストラクター)

14:45~16:00 タクティール®ケアとは

- ・タクティール®ケアの概要
- ・タクティール®ケアのはじまり
- ・タクティール®ケアを行うということ
- ・現場でのタクティール®ケアの導入と効果 など



16:15~17:30 タクティール®ケアの実際(体験)

- ・タクティール®ケアの実際
- ・タクティール®ケアのデモンストレーション
- ・二人一組になってタクティール®ケアを体験
- ・実際に体験をしてみる質疑、応答 など

F

コース

バリテーション

心に触れるコミュニケーション法
心と心が触れ合うバリテーション

講師 正垣 幸一郎氏 (ジロール麹町小規模特養主任)

14:45~16:00 バリテーションとは

- ・バリテーション技法の開発者
- ・バリテーションの基本的態度(演習あり)
- ・解決の4つの段階(ロールプレイあり)
- (1)認知の混乱 (2)日時・季節の混乱 (3)繰り返し動作 (4)植物状態 など

16:15~17:30 感情レベルでのコミュニケーション(体験)

- ・バリテーションの演習
- (1)感情とは (2)コミュニケーションとは (3)共感とは
- ・バリテーションのセッション風景
- ・実際に体験をしてみるまとめ など



G

コース

パーソン・センタード・ケア

ご利用者、介助者それぞれのニーズを引き出す
パーソン・センタード・ケア

講師 関口 清貴氏 (医療法人健英会介護事業推進室 室長)

14:45~16:00 パーソン・センタード・ケアを知ろう

- ・パーソン・センタード・ケアの入口(認知症になりたい?なぜほげたくないのか?)
- ・介護者と認知症の人それぞれの視点(グループディスカッション)
- ・パーソン・センタード・ケアの理解
- (1)認知症の人の思いと状態 (2)認知症の人のニーズ (3)認知症の人の行動や言動の理解

16:15~17:30 パーソン・センタード・ケアの実践(体験)

- ・実際の高齢者施設における認知症の人の事例提供
- ・グループワーク(1)「その人の良い状態、よくない状態に視点をあてて考える」
- ・グループワーク(2)「行動・状態の意味に視点をあてて考える」
- ・グループワーク(3)「心理的ニーズに視点を当ててケアや関わり方について考える」
- ・アセスメントシートや実践事例、DCM 等を紹介

H

コース

応用行動分析

課題解決に向けたケアの糸口が見えてくる
応用行動分析

講師 高橋 恵子氏 (有限会社せせらぎ 代表取締役)

14:45~16:00 認知症介護現場の根拠に基づいたケア

- ・応用行動分析学とはどのような学門なのか?
- ・行動とは何か?なぜその行動は生じるのか?
- ・行動分析学の4つの隣伴性とは? など

16:15~17:30 現場のケアを応用行動分析的に分析しよう

- ・BPSPDが生じてくる前後のケア環境を見直そう!
- ・ケア環境をどう観察するか?
- ・暴力行為・入浴拒否を考えよう など